

マインドワンダリングと創造性の関連について

—メタ認知的信念による調整効果の検討—

山根 嵩史

(広島大学グローバルキャリアデザインセンター)

マインドワンダリング(以下, MW とする)は, 目の前の課題から注意が逸れ, 課題非関連な思考を行っている状態である(Smallwood & Schooler, 2006)。近年, MW の適応的側面として, 創造性(creativity)との関連が指摘されている。山岡・湯川(2016)は, MW と創造性との関連を実証的に示した先駆的な研究であるが, 課題中の MW の指標として, 課題無関連な妨害思考の頻度のみが用いられている。本研究では, 山岡・湯川(2016)とは異なる MW の側面を測定する尺度を用いて, 創造性との関連を検討する。

課題遂行中に生じる MW に気づくには, メタ認知能力が必要であると指摘されている(Schooler, 2006)。メタ認知とは, 意図的な計画にそって自己の認知行動を制御するプロセス(菱谷, 1983)である。メタ認知能力の高い個人は, 課題遂行中に生じた MW に気づき, それを適切に制御することで, 創造性を発揮している可能性がある。そこで本研究では, MW と創造性との関連における, メタ認知の調整効果についても併せて検討する。

方法

調査参加者 大学生 59 名(男性 22 名, 女性 37 名, 平均年齢 19.12 歳 ($SD = .46$))であった。

調査用紙と手続き MW 傾向を測定する尺度として, 日本語版 MWQ(項目例: “単純な, あるいは単調な作業に集中し続けることが難しい”)および日本語版 DDFS (“ふとした時間の余裕があるときに, 空想をすることが・・・”)(梶村・野村, 2016)を用いた。メタ認知に対する信念の測定のため, 日本語版 MIA(金城・井出・石原, 2013)より, 「変化」(“自分の記憶力は, ここ 10

年でとても悪くなった”), 「能力」(“本を読んだあとで, そこに書かれていた内容を思い出すのは簡単だ”), 「不安」(“記憶力が必要となる問題に取り組もうとするときは, 不安になることが多い”), 「支配」(“努力すれば, 自分の記憶力を良くすることができる”)の下位尺度を用いた。創造的態度の測定のため, CAS(林, 1999)より, 「挑戦性・探究心」(“解けないような問題ほど, 解いてみたくなる”), 「独自性」(“物事は, 決まりきった形どりのやり方ではしたくない”), 「好奇心」(“好きなことや, やりたいことがいっぱいある”), 「柔軟性」(“物事を考えるとき, 人とは変わった考え方をすることができる”)の下位尺度を用いた。調査は講義時間を利用して実施された。回答方法は, 各尺度の元々の回答方法に準じた。

結果

各尺度および下位尺度の基礎統計量と, 各尺度間の相関係数を Table 1 に示した。CAS を目的変数とし, 説明変数として MW 傾向(MWQ あるいは DDFS)と MIA および交互作用項を投入した重回帰分析を実施したところ, いずれの主効果・交互作用も有意にならなかった($p > .05$)。

考察

本研究で使用した MWQ および DDFS は, 創造性との関連がみられなかった。これらの尺度は MW の異なる側面(MWQ は “課題無関連な身体感覚”, DDFS は “自発的思考傾向”)を測定しているとされ(梶村・野村, 2016), これらの側面は創造性と関連しない可能性が示唆された。MW に含まれるどのような構成要素が創造性と結びつくのかという観点から, さらなる検証が求められる。

Table 1 変数間の基礎統計量および変数間の相関係数

	α	M	SD	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1. MWQ	.33	4.13	0.59	—	.25 [†]	.11	.11	.22 [†]	-.10	.19	-.11	.09	.08
2. DDFS	.93	3.23	0.81		—	-.17	.13	.09	-.20	.14	.01	.19	.12
3. MIA(変化)	.70	2.66	0.65			—	-.14	.39**	-.30*	-.09	-.21	-.10	-.11
4. MIA(能力)	.71	3.25	0.61				—	-.05	.13	.33*	.04	.35*	.25 [†]
5. MIA(不安)	.77	3.19	0.75					—	-.19	.01	-.39**	-.14	-.06
6. MIA(支配)	.84	2.75	0.83						—	.27*	.03	.21 [†]	.16
7. CAS(挑戦性・探究心)	.83	2.91	0.71							—	.33**	.64**	.63**
8. CAS(独自性)	.74	2.70	0.62								—	.38**	.49**
9. CAS(好奇心)	.92	3.71	0.84									—	.55**
10. CAS(柔軟性)	.72	3.20	0.56										—

** $p < .01$, * $p < .05$, [†] $p < .10$